

社会資本総合整備計画(第1回変更)

八積駅周辺の総合的なまちづくり

やつみえきしゅうへんちくとしさいせいせいびけいかく
八積駅周辺地区都市再生整備計画

平成29年12月(当初)
令和元年8月(第1回変更)

ちばけんちょうせいむら
千葉県長生村

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	八積駅周辺の総合的なまちづくり										重点配分対象の該当	無																				
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)		交付対象	千葉県 長生村																												
計画の目標	<p>八積駅北口周辺と駅利用者の利便性・快適性・安全性など交通環境の改善を図るとともに、村の「顔」にふさわしい街並みづくりと楽しく利便性の高い拠点づくりを図り歩いて行ける距離で暮らせるコンパクトなまちづくりを推進し、鉄道により分断された南北市街地の一体化を図る。</p> <p>また、八積駅周辺を村の中心拠点として整備するにあたり、住民及び来遊者の交流拠点となる地域交流センターを整備し、駅周辺に人の流れを呼び込むことで中心拠点として賑わいの創出を図り、地域コミュニティの形成を目指す。</p>																															
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の様々な生活機能、利便施設の整備や公共施設等の都市施設を集約し、八積駅利用者の満足度を50%から75%に増加させる。 ・新たに整備する地域交流センターの利用者満足度を45%から70%に増加させる。 ・新たに地域交流拠点として地域交流センターを整備し、交流センターで活動するクラブの会員数を723人から830人に増加させる。 																															
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (R3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八積駅利用者の利便性に関する満足度に関するアンケート調査を実施する。 ※4段階評価で満足度の割合を計測</td> <td>50%</td> <td>—</td> <td>75%</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>新たに整備する交流センターの利便性に関するアンケート調査を実施する。 ※所管の担当課で集計値</td> <td>45%</td> <td>—</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>新たに整備する交流センター竣工(令和3年2月)以降1年後のクラブの会員者数を調査し、クラブ会員者の増減数を計測する。 ※所管の担当課で集計値</td> <td>723人</td> <td>—</td> <td>830人</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29)	中間目標値	最終目標値 (R3)	八積駅利用者の利便性に関する満足度に関するアンケート調査を実施する。 ※4段階評価で満足度の割合を計測	50%	—	75%		新たに整備する交流センターの利便性に関するアンケート調査を実施する。 ※所管の担当課で集計値	45%	—	70%	新たに整備する交流センター竣工(令和3年2月)以降1年後のクラブの会員者数を調査し、クラブ会員者の増減数を計測する。 ※所管の担当課で集計値	723人	—	830人
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																												
	当初現況値 (H29)	中間目標値	最終目標値 (R3)																													
八積駅利用者の利便性に関する満足度に関するアンケート調査を実施する。 ※4段階評価で満足度の割合を計測	50%	—	75%																													
新たに整備する交流センターの利便性に関するアンケート調査を実施する。 ※所管の担当課で集計値	45%	—	70%																													
新たに整備する交流センター竣工(令和3年2月)以降1年後のクラブの会員者数を調査し、クラブ会員者の増減数を計測する。 ※所管の担当課で集計値	723人	—	830人																													
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,136百万円	A	2,136百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																				
交付対象事業																																
A 基幹事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考															
A-1	都市再生	一般	長生村	直接	長生村	八積駅周辺都市再生整備計画	地区内道路、駅南口交通広場、交流センター等	長生村	H30	H31	R2	R3	R4	2,136	-	策定済																
合計													2,136																			
B 関連社会資本整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考															
									H30	H31	R2	R3	R4																			
合計																																
C 効果促進事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H30	H31	R2	R3	R4	0																		
合計													0																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
									H30	H31	R2	R3	R4																			
合計																																
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																				

交付金の執行状況

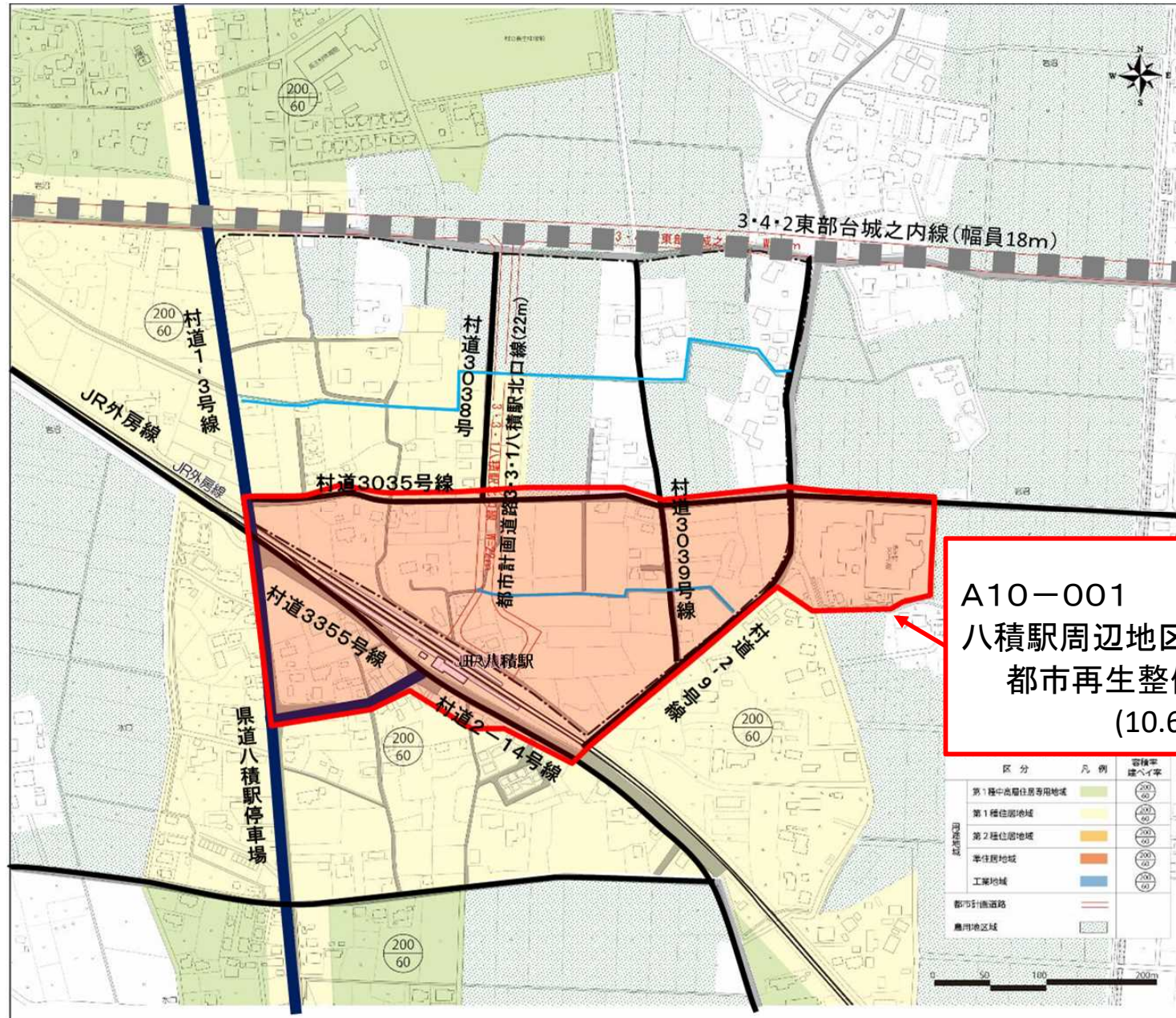
(単位:百万円)

	H30	H31	R2	R3	R4
配分額 (a)	55.8				
計画別流用 増△減額 (b)	18.7				
交付額 (c=a+b)	74.5				
前年度からの繰越額 (d)	0.0				
支払済額 (e)	55.8				
翌年度繰越額 (f)	18.7				
うち未契約繰越額 (g)	0.0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0				
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	八積駅周辺の総合的なまちづくり	交付対象	千葉県 長生村
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 八積駅周辺の総合的なまちづくり

市町村名: 千葉県長生村

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
⑤事業実施にあたり、民間活力の活用等が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○